

3さい4さい5さいの おともだちへ



横須賀市立児童図書館



もくじ



あっちゃんあがつく	1	ちびゴリラのちびちび	6
アンガスとあひる	1	つきよ	7
おかあさんがおかあさんになった日	1	てのひらおんどけい	7
おかえし	2	てぶくろ	7
おじさんのかさ	2	でんしゃにのって	8
おだんごぱん	2	とうさんおはなしして	8
おやすみなさい おつきさま	3	どうぞのいす	8
がたごとがたごと	3	どうながのプレッツェル	9
かばくん	3	トマトさん	9
くまのコールテンくん	4	どろんこハリー	9
くものすおやぶんとりものちょう	4	はじめてのおつかい	10
ぐりとぐら	4	はなをくんくん	10
くろねこかあさん	5	みんなうんち	10
こんとあき	5	ゆかしたのワニ	11
三びきのやぎのがらがらどん ...	5	わにわにのおふろ	11
だるまちゃんとてんぐちゃん ...	6	わらう	11
ちいさなふたりのいえさがし ...	6		



あっちゃんあがつく

「あっちゃんあがつくあいすくりーむ」「いっちゃんいがつくいちごじゃむ」・・・「あ」から「ん」まで、濁音、半濁音も含めて、69音すべてに食べ物のうたと、おいしそうなお絵がついた絵本。お子さんと一緒にうたって楽しめる絵本です。

さいとうしのぶ／作 みねよう／げんあん
リーブル

アンガスとあひる

子犬のアンガスは知りたがりや。庭のむこうから聞こえてくる、ガー、ガー、ゲック、ガー！という音の正体を知りたくて家を飛び出しました。さて、アンガスを待っていたのは…？アンガスと同じように知りたがりやの子どもは、自分とアンガスを重ねて楽しんでくれることでしょう。姉妹編に『アンガスとねこ』『まいごのアンガス』（瀬田貞二／やく 福音館書店）『ベスとアンガス』『トプシーとアンガス』（まさきりこ／やく アリス館）



マージョリー・ブラック／さく・え
瀬田貞二／やく
福音館書店



おかあさんがおかあさんになった日

あなたの生まれた日、おかあさんがおかあさんになった日。その日、あなたはなかなか生まれてこなくて、おかあさん、いろんなことしながら待ってたよ…。

長野ヒデ子／作
童心社



村山桂子／さく 織茂恭子／え 福音館書店

おかえし

ある日たぬきの家の隣に、きつねが引越してきます。きつねの奥さんは、たぬきの奥さんのところへイチゴを持ってあいさつに行きます。すると今度はたぬきの奥さんが、「なにかおかえししなくちゃ」とたけのこを持ってきつねの家へ。お返し合戦のはじまりです。

おじさんのかさ

おじさんは、黒くて細いぴかぴかの立派なかさを持っています。いつもかさを持って出かけるのですが、雨が降ってもかさをさしません。大切なかさがぬれるからです。ある日雨が降ると、おじさんの目の前で、小さな女の子が、男の子をかさに入れてあげ、歌いながら帰っていきました。楽しそうな声につられ、思わずかさを開いたおじさん。立派にぬれたかさに、「ぬれたかさもいいもんだなあ」

佐野洋子／作・絵 講談社



おだんごばん

(ロシア民話)

おばあさんが作ったおだんごばん。焼きあがってさましているすきに、窓から外に転がり出しました。うさぎやおおかみに追いかけて、食べられそうになるけれど、歌を歌って逃げ出します。おだんごばんのリズミカルな歌が楽しい絵本です。

せたていじ／やく

わきたかず／え

福音館書店



おやすみなさい おつきさま

こうさが、眠る前にお部屋のなかのいろいろなものに「おやすみなさい」と告げています。ページを追うごとに部屋の中もほのかに暗くなっていきます。こうさが心安らかに眠りにつくまでを描いた、おやすみ前の読み聞かせにぴったりの絵本。

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく
クレメント・ハード／え せたていじ／やく
評論社

がたごとがたごと

たくさんのお客が、ある駅で列車に乗り込みました。町をぬけ、野山を走り、山の駅に着きます。降りてきたお客は…あれ？またたくさんの人が乗ります。トンネルに入り、いろいろなところをがたごとがたごと走ります。駅について、降りてきたお客は…キャー！！

絵をじっくり見るのも楽しい絵本。

内田麟太郎／文 西村繁男／絵
童心社



かばくん

「どうぶつえんにあさがきた
いちばんはやおきはだーれ
いちばんねぼすけはだーれ」

動物園のかばの一日がリズムのある文とともに展開していきます。ユーモラスなかばの姿や表情が、魅力的な絵本です。

岸田衿子／さく 中谷千代子／え
福音館書店



くまのコールテンくん

大きなデパートのおもちゃ売り場にならぶ、くまのコールテンくん。ある日、つりひものボタンが一つとれていることを知ったコールテンくんは、デパートが閉まったあとにボタンを探しに出かけます。子どもは、デパート探検のおもしろさや、最後に女の子の友だちになる幸せな気持ちを、コールテンくんと一緒になって楽しめます。

ドン=フリーマン / さく まつおかきょうこ / やく
偕成社

くものすおやぶん とりものちょう

おかしやに届いた盗みの予告状。くものすおやぶんは、盗賊を捕まえることができるのでしょうか？虫の町を舞台にした愉快的時代劇絵本です。

秋山あゆ子 / さく
福音館書店



ぐりとぐら

ぐりとぐらがドングリを拾いながら、森の奥へと進んでいくと、大きなたまごを見つけました。ふたりは相談して、カステラを作ることになりました。子どもの大好きな動物、食べ物、そして、リズムのよいことばなどで、心が弾んでいく楽しいお話。

なかがりえこ / さく おおむらゆりこ / え
福音館書店



くろねこかあさん

「くろねこかあさん あかちゃんうむよ どんなあかちゃん うまれるのかな どんな なきごえしてなくのかな」

繰りかえしのことばが語りかけてくるようで、優しく心地よく感じます。ふくらんだかあさん猫のおなかの部分から、くろねこ3匹を切り絵にし、残った白地はそのまましろねこ3匹になるなど、切り絵の構成、配置も巧みで面白い絵本です。

東君平／さく 福音館書店

こんとあき

「こん」はきつねのぬいぐるみです。おばあちゃんが、生まれてくる赤ちゃんのために贈りました。赤ちゃんの名前は「あき」です。こんとあきは、とても仲良しになり、いつも一緒にすごしました。しかし、こんは古びて腕がほころんでしまいました。二人は、腕をなおしてもらいに、おばあちゃんの住む砂丘の町へ、出かけることにしました。

林明子／さく
福音館書店



三びきのやぎのがらがらどん

(北欧民話)

がらがらどんという同じ名前の三びきのやぎが、山の草場をめざして歩いていきます。途中の谷川の橋の下には、怪物トルロが、ひとのみにしてやると、待ち構えています。三びきのやぎは、それぞれに対決し、草場につきました。橋を渡るときの「がたごと」という音や、繰り返される言葉が子どもたちに喜ばれている絵本。

マーシャ・ブラウン／え せたていじ／やく 福音館書店



加古里子／さく・え 福音館書店

だるまちゃんとてんぐちゃん

だるまちゃんとはてんぐちゃんと仲良く遊んでいましたが、てんぐちゃんの持っているうちわが急にほしくなります。うちに帰ってお父さんにお願いすると、たくさんのうちわを出してくれましたが、だるまちゃんの選んだうちわは…。だるまちゃんのいろいろなお願いにお父さんは大活躍。

ちいさなふたりのいえさがし

春のある朝、おじいさんとおばあさんが暮らすくみの家が壊れてしまい、ふたりは新しい家を探しにたんぼぼの綿毛につかまって出かけます。はじめに見つけたいちごの家はつぶれてしまい、次のスイカの家は割れてしまい、その次のりんごの家は嵐でとばされ、川に落ちてしまいます。流れ着いた川辺はなんと元いたところでした。季節がひとまわりして、新しい丈夫なくるみの家できました。みつめたくだもの家でつくるおいしいそうな食べ物もみてくださいね。

たかおゆうこ／さく

福音館書店



ちびゴリラのちびちび

ちいさなかわいいゴリラがいました。みんなちびちびが大好きでした。お母さんも、お父さんも、おばあさんも、おじいさんも。大きな緑の森にすむ動物たちは、みんなちびちびが生まれたその日から、このちびゴリラが大好きでした。そんなある日、何かが起こりはじめたのです。

ルース・ボーンスタイン／さく いわたみみ／やく
ほるぶ出版



つきよ

日が暮れて、子だぬきがうちへ帰ろうと歩いていると、突然、月が山すそをすべって、池に落ちてしまいました。子だぬきは大急ぎで月を追いました。月は池に浮いて船になったり橋や島になったり次々に形を変えていきます。変わってく月の姿が、子どもを楽しませます。

長新太／さく
教育画劇

てのひらおんどけい

てのひらは、みんなが持つてゐる温度計。あったかいもの、つめたいもの、てのひらが教えてくれます。お子さんと一緒にてのひらおんどけいを使って散歩に出かけましょう。思いがけない発見があるかもしれません。

浜口哲一／ぶん
杉田比呂美／え
福音館書店



てぶくろ (ウクライナ民話)

ある雪の日、おじいさんが手袋を落とします。そこへねずみがやってきて、手袋の中にすみつきます。次々にいろんな動物が「いれて」と加わっていきます。いつしか手袋はぎゅうぎゅうづめに。動物が増えるごとに変わっていく手袋の様子がとても面白い絵本。

エウゲーニー・M・ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店



でんしゃにのって

(うららちゃんの のりものえほん1)

うららちゃんは、ひとりで電車に乗っておばあちゃんのところへ行きます。降りるのは『ここだ』駅。がたごとがたごと。「つぎは わにだー わにだー」。『わにだ』駅で乗ってきたのは…？

とよたかずひこ／著
アリス館

とうさんおはなしして

ねずみのとうさんが、ベッドに入った子どもたちに語る七つのおはなし。ほら話や寓話など、どれもユーモアにあふれたおはなしばかりです。

アーノルド・ローベル／作
三木卓／訳
文化出版局



どうぞのいす

うさぎさんが、小さいいすを作りました。『どうぞのいす』と書いた立て札を立てて、野原の木の下に置きました。ろばさんがやってきて、どんぐりのたくさん入ったかごを、いすの上に置きました。そして木の下で寝てしまいました。さて、ろばさんが目をさますと…。

香山美子／作 柿本幸造／絵
ひさかたチャイルド



どうながのブレッツェル

ブレッツェルは、世界一どうながの立派なダックスフントです。ドッグショーでも優勝しました。みんなが「ほう！」と言ってくれるのに、大好きなグレタは「だいきらい」といいます。ブレッツェルは、グレタに気持ちを伝えようと、一生懸命考えます。

マーグレット・レイ／ぶん H.A. レイ／え
わたなべしげお／やく 福音館書店

トマトさん

ある夏の昼下がり。真っ赤に熟れたトマトさんが、トマトの木から「どった」と落ちました。トマトさんは小川に泳ぎに行きたいけれど、体が重くてころがることができません。すると虫たちが集まってきて…。トマトさんの迫力満点の表情が愉快的な絵本です。



田中清代／さく
福音館書店



どろんこハリー

ハリーは黒いぶちのある白い犬。おふろにはいることが大嫌いなハリーは、おふろにお湯を入れる音が聞こえてくると、ブラシをくわえて逃げ出します。さんざん遊んでどろんこになって家に戻ってみると、さあたいへん、だれもハリーだと気づいてくれません。おふろで洗ってもらい、ようやく家族に気づいてもらえて喜ぶハリーのおはなしに、子どもはハラハラドキドキ。

ジーン・ジョン／ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム／え
わたなべしげお／やく 福音館書店

はじめてのおつかい



はじめてのおつかい

もうすぐ5歳のみいちゃんは、ママから初めてのおつかいを頼まれます。ぴゅるーんと走る自転車にあたり、転んでお金を落としたり。やっと着いても、お店の人となかなか話せなかったり。初めて自分ひとりで何かやるうとする時の子どもの緊張と不安が、巧みに描かれています。

筒井頼子／さく 林明子／え 福音館書店

はなをくんくん

雪の降る静かな草原。雪の下にはノネズミが眠っています。そして、くまも、リスも、たくさんの動物が眠っています。おや、みんなが目目を覚ましました。みんな、はなをくんくん、くんくん。何かな？何かな？みんな駆け出しました。「うわーい」何を見つけたのかな？

ルース・クラウドス／ぶん マーク・シーモント／え
きじまはじめ／やく 福音館書店



みんなうんち

五味太郎さく



かがくとも傑作集

みんなうんち

大きい象は、おおきいうんち。小さいねずみは、ちいさいうんち。魚も、鳥も、虫も。生き物は食べるから、みんなうんちをするんだねー。食べたら、うんちが出る。生きているものの「当たり前」を楽しく見せてくれます。

五味太郎／さく
福音館書店

ゆかしたのワニ



ぼくのいえの床下にはワニがいて、夜になるとワニの歯みがきをしに行きます。こわいと思われるけれど、七つ道具があるから大丈夫。ワニもあーんと口を開けてくれるよ。つかえぼうをして口の中をよく見て、ながいようじでほじったり、歯ブラシでシュッシュッ。あれ、だんだんワニの様子が変わってきたぞ。ながーい舌を巻いてきて、吐く息があらくなってきた。そろそろ脱出しなきゃ。どうやって？みてのお楽しみ！

ねじめ正一／文

コマツ シンヤ／絵

福音館書店

わにわにのおふろ

ワニのわにわにはお風呂が大好き。お湯につかっておもちゃで遊び、せっけんのあぶくをとばし、シャワーをマイクに歌をうたいます。木版画で描かれたわにわには、どこかユーモラス。お風呂が大好きになる絵本です。



小風さち／ぶん 山口マオ／え

福音館書店



わらう

どうしてもおににちゃんに勝ちたい！にらめっこに負けてばかりのぼくは、明日ぜったい笑わないっておまじないをした。次の日、にらめっこには初めて勝ったけど、なぜかみんなが「けんちゃんどうしたの？」ってへんなことを言うんだ…。

浜田桂子／作

福音館書店

■横須賀市の図書館・図書室■

- ◆^{よやく}予約・^{かしだし}貸出には^{としょかん}図書館カードが必要です。^{ひつよう}図書館カードはすべての図書館と、生涯学習センターやコミュニティセンターの図書室で作れます。
- ◆すべての図書館・図書室で^{へんきやく}貸出・^{へんきやく}返却・^{けんさく}予約・^{けんさく}検索ができます。
- ◆パスワード登録をすると、^{とうろく}図書館ホームページから、予約や、貸出中の本の^{きかんえんちよう}貸出期間延長ができます。



<http://www.yokosuka-lib.jp>

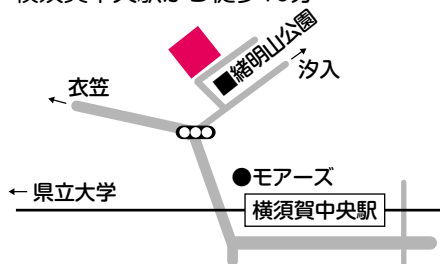
^{かいがんじかん}開館時間 9:30 ~ 17:20 ^{ちゅうおう}中央・^{しやうなん}北・^{なん}南の木、金曜日は 19:20 まで(祝日は除く)
^{きゅうかんび}休館日 月曜日(祝日は開館のため翌日)、第4木曜日、年末年始、図書整理期間

【図書館】

中央図書館

電話:822-2202

横須賀中央駅から徒歩10分



児童図書館

電話:825-4417

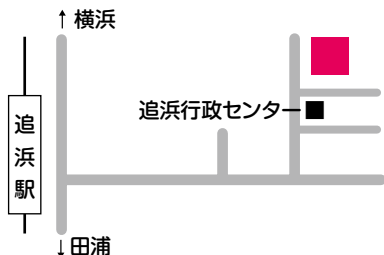
横須賀中央駅から徒歩1分



北図書館

電話:866-0516

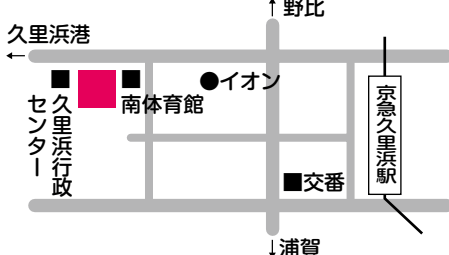
追浜駅から徒歩12分



南図書館

電話:836-0718

京急久里浜駅から徒歩10分



【図書室】

かいかんじ かん

開館時間 9:00～17:00

きゅうかんび

休館日 第4木曜日の9:00～13:00 と 年末年始

ねんまつねんし

田浦コミュニティセンター 図書室（TEL861-9007）	船越町 6-77（田浦行政センター内） 京急田浦駅から徒歩 5 分
逸見コミュニティセンター 図書室（TEL823-3205）	東逸見町 2-29（逸見行政センター内） 逸見駅から徒歩 1 分、または JR 横須賀駅から徒歩 10 分
衣笠コミュニティセンター 図書室（TEL852-3596）	公郷町 2-11（衣笠行政センター内） JR 衣笠駅から徒歩 8 分、またはバス停「衣笠十字路」から徒歩 3 分
大津コミュニティセンター 図書室（TEL835-2872）	大津町 3-34-40（大津行政センター内） 京急大津駅から徒歩 1 分
浦賀コミュニティセンター 図書室（TEL841-4184）	浦賀 5-1-2（浦賀行政センター内） 浦賀駅から徒歩 7 分
北下浦コミュニティセンター 図書室（TEL849-2866）	長沢 2-7-7（北下浦行政センター内） 京急長沢駅から徒歩 10 分、または YRP 野比駅から徒歩 15 分
西コミュニティセンター 図書室（TEL857-0896）	長坂 1-2-2（西行政センター内） バス停「横須賀市民病院」から徒歩 5 分
武山コミュニティセンター 図書室（TEL857-1600）	武 3-5-1（武山市民プラザ内） バス停「南武入口」から徒歩 3 分、または「竹川」から徒歩 4 分
長井コミュニティセンター 図書室（TEL856-3123）	長井 5-16-5 バス停「長井小学校」から徒歩 5 分
生涯学習センター図書室 （TEL822-4856）	西逸見町 1-38-11（ウェルシティ市民プラザ 5 階） 逸見駅から徒歩 5 分、または JR 横須賀駅から徒歩 5 分 （第 4 木曜日は終日休館です。）

次の場所でも予約した本の受け取り、本の返却ができます。

問い合わせは中央図書館（TEL822-2202）へ

市役所市政情報コーナー	小川町 11 横須賀市役所 1 階 横須賀中央駅から徒歩 7 分 開館時間 8:30～17:00 休館日 土、日、祝日、年末年始
鴨居コミュニティセンター	鴨居 3-11-12 「鴨居」バス停から徒歩 2 分 開館時間 8:30～21:00 休館日 年末年始
岩戸コミュニティセンター	岩戸 1-10-18 「岩戸」バス停から徒歩 5 分 開館時間 8:30～21:00 休館日 年末年始



—絵本が育む豊かなころ—

子どもの読書習慣は、家庭や地域でのふれあいの中で作られていきます。

まだ字を知らない幼児は、絵を見ながらおはなしを耳で聞いて、はじめてその本を楽しむことができます。愛情の込められた本の読み聞かせは、子どもたちの心豊かな成長につながることでしょう。

このブックリストは、幼児に出会ってほしい絵本を選びまとめたものです。ぜひ親子での読書を楽しんでください。

